

VoiceOver 併用版

お好みの外部スイッチで、iPad iPhone iPodTouch を利用したい！その願いのお手伝いのできたらうれしいです。



「できマウス。」プロジェクト

<http://dekimouse.org>

目次

1. 「でき iPad。」の概要
2. 「でき iPad。」仕様
3. 「でき iPad。」各部の名称
4. 「でき iPad。」を iPad や iPhone にペアリング (登録) する
5. 「でき iPad。」を iPad や iPhone から接続を解除する
6. iPad・iPhone の設定
7. スイッチコントロールの設定 SWC
8. VoiceOver 併用の場合の設定 VO
9. 操作モードの切替と操作方法
 - 9-1. スイッチコントロールを併用して操作する (iOS7 以降) SWC
 - 9-2. 専用スイッチ対応アプリ操作する (iOS7 以降)
 - 9-3. VoiceOver を併用して操作する VO
 - 9-4. VoiceOver を併用して操作する際のコマンド一覧 VO
 - 9-5. VoiceOver を併用して操作する際の操作例 VO
 - 9-6. スイッチ 4 個モードで機能を自由に割り当てる操作例 VO
 - 9-7. 操作モードの確認
10. その他の操作と設定
11. ご注意とお願い
12. 「でき iPad。」でできないこと
13. Q&A
14. 動作がおかしいとき
15. 謝辞

対応していない iOS 製品

初代 iPhone
iPhone3G

文中の記号

SWC iOS7 以降のスイッチコントロールに関する事項
VO VoiceOver を利用しての操作に関する事項

お願い

「でき iPad。」をスイッチコントロールで利用される場合は、ユーザーマニュアル スイッチコントロール対応編をご覧ください。

<http://dekimouse.org/wp/> から PDF でダウンロードできます。

iOS 機器では、iBooks の書棚に取り込むことができます。

「でき iPad。」は、生まれたばかりです。皆様の愛ディアで育てていただけたら幸いです。不具合などございましたら、ご連絡とご協力をよろしくお願いいたします。

iPad iPadmini iPhone iPodTouch AppleTV は、Apple 社の登録商標です。

1. 「でき iPad。」の概要

Apple 社の iPad や iPhone や iPodTouch は、とても素晴らしい製品ですね。画面にタッチすることで非常に直感的に操作ができますね。iOS7 からは、スイッチコントロール機能が追加され、画面にタッチすることが困難な場合でも外部スイッチで利用できるようになりました。

「でき iPad。」は、お好みの外部スイッチを利用して iPad など iOS 製品を操作できます。

スイッチコントロールで使用する場合は、「でき iPad。」をスイッチコントロールモードにします。

スイッチ 1 個でも 5 種類の機能を、スイッチ 4 個モードでは、4 種類（「できレバースイッチ。」では、8 種類）の機能を利用できます。

スイッチコントロール非対応のアプリを操作する場合は、「でき iPad。」を従来操作モードにします。

従来操作モードでは、スイッチ 1 個/2 個/4 個モードがあり、トーキングエイド for iPad や、スイッチ対応アプリの操作モードもあります。Siri 対応の場合は、Siri の起動もできます。

2. 「でき iPad。」仕様

種別：Bluetooth スイッチインターフェイス（電波法の技術適合基準証明取得マーク付）

対応：iPad/iPhone/iPodTouch（VoiceOver 搭載機種）/AppleTV（現在検索文字入力はありません）

寸法：横 55 x 高 14 x 奥 80mm（スイッチ接続部と突起部含む）

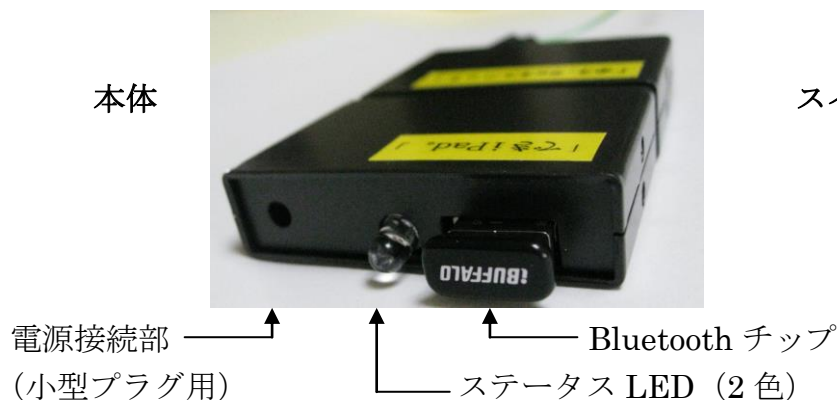
重さ：95 g

電源：5VDC（小型プラグ使用 プラグ径：1.3×3.4×9.5mm/省電力として DeepSleep モード搭載）/電池動作可能

スイッチ：付属いたしません

ファームウェア：バージョンアップ書き換えが可能

3. 「でき iPad。」各部の名称



スイッチ接続部



スイッチは右から SW1・SW2・SW3・SW4。
スイッチ式ジョイスティックではレバー 8 方向に対応。

4. 「でき iPad。」を iPad や iPhone にペアリング（登録）する

「でき iPad。」が届いたら… をご参照ください。

また動画解説いたしております。ホームページからご覧ください。

5. 「でき iPad。」を iPad や iPhone から接続を解除する

「でき iPad。」ユーザーマニュアル スイッチコントロール編をご覧ください。

6. iPad・iPhone の設定（*必要によってサポーターが行ってください）

1. VoiceOver にチェックを入れます。



設定/一般/アクセシビリティ/ショートカットと進みます。
VoiceOver にチェックを入れます。
このようにしますと、HOME ボタンの3回 On で設定を選択できるようになります。

iOS7 未満は下記のようにになります。
設定/一般/アクセシビリティ/トリプルクリックと進みます。

2. VoiceOver モードの確認



HOME に戻ります。
HOME ボタンを3回連続 ON して、表示されるメニューから VoiceOver を選択してそのモードになることを確かめます。

VoiceOver モードでは、図の右ように、フォーカスのある部分が枠線で表示されます。(メッセージにフォーカスの例)
枠線の太さは iOS7 から変更できます。

音声読み上げをご利用されない場合は、音声読み上げの停止/再開は、「でき iPad。」で可能です。

00001 で、VoiceOver の音声読み上げの停止/再開を操作できます。VO

3. VoiceOver のローターの設定

設定/一般/アクセシビリティ/VoiceOver/ローター と進みます。縦方向のナビゲーション・拡大/縮小など必要な項目にチェックを入れます。VO

7. スイッチコントロールの設定 (「でき iPad。」 Ver2.0 以降 iOS7 以降) SWC

下記のような機能があります。

詳しくは、「でき iPad。」ユーザーマニュアル スイッチコントロール編をご覧ください。

1. 利用するスイッチが1個の場合 (SW1 に接続したスイッチ On の回数で操作します。PPS スイッチ利用可能)	
ペアリング直後はこのモードになっています。(Ver2 未満の場合は、VoiceOver 利用モードで LED は赤点灯で設定不可能)	
スイッチの On 回数で 4 回までの 4 個のアクションが iOS で設定できます。	同じアクションを設定すれば、手振れ対策にもなります。
2. 利用するスイッチが4個の場合	
SW1 から SW4 の On で 4 個のアクションが iOS で設定できます。	図は上を参照
3. 「できレバースイッチ。」(別売)を利用する場合	
「できレバースイッチ。」を利用しますと斜め方向も利用でき、レバーを 8 方向に On で 7 個のアクションが iOS で設定できます。 *レバー右上は、音楽やスライドのダイレクト操作となっており設定は、固定となっております。	
設定/一般/アクセシビリティ/スイッチコントロール/スイッチとタップします。 スイッチの項で新しいスイッチを追加を選択します。 レバーを下に倒して、名前を付けて保存し、アクションを選択します。	図は前ページの図を参照

スイッチコントロールは、iOS の設定で、表示枠の色や太さも設定できます。

8. VoiceOver 併用の場合の設定 VO

すでに、約 50 種のコマンドが設定されております。

9-2.VoiceOver を併用して操作する際のコマンド一覧をご覧ください。

9.操作モードの切替と操作方法（別紙「でき iPad。」が届いたらのペアリング作業を先に行ってください。）

操作モードは、「でき iPad。」の電源を切っても「でき iPad。」に記憶されます。新たにペアリングしますと、設定内容は初期化されます。モードの切り替えは、「でき iPad。」に接続したスイッチで行います。

9-1.VoiceOver を併用して操作する **VO**

スイッチ1個で操作する（スイッチ1個モード）

スイッチを短く On することを“0”、長く On することを“1”と表現します。

この“0”と“1”の組み合わせで操作します。“0”と“1”は、ブザー音で判断もできます。

他のモードからこのモードにするには、一旦電源を切り、スイッチを「Φ3.5x4ユニット。」の2番に挿入し、そのスイッチを ON したまま、「でき iPad。」の電源を入れ、メロディが鳴りましたら速やかに電源を切ります。そのスイッチを OFF します。LED が赤点灯します。LED が青（緑）点灯の場合は、再度同じ操作を行ってください。

スイッチ2個で操作する（スイッチ2個モード）

スイッチを短く On したり長く On することが困難な場合で、2個のスイッチ操作が可能な場合にご利用ください。

On の長さに関係なく SW1 は“0”となり、SW2 は“1”となります。

この“0”と“1”の組み合わせで操作します。“0”と“1”は、ブザー音で判断もできます。

他のモードからこのモードにするには、電源を切り、スイッチを「Φ3.5x4ユニット。」の2番に挿入し、そのスイッチを ON したまま、「でき iPad。」の電源を入れメロディが鳴りましたら、速やかにそのスイッチを OFF します。LED が赤点灯します。LED が青（緑）点灯の場合は、再度同じ操作を行ってください。

スイッチ4個で操作する（スイッチ4個モード）

スイッチの長短 On の“0”と“1”の組み合わせが難しい場合は、SW1 から SW4 に、その長短の組み合わせを自由に設定して利用することができます。

他のモードからこのモードにするには、電源を切りスイッチを「Φ3.5x4ユニット。」の4番に挿入し、そのスイッチを ON したまま、「でき iPad。」の電源を入れメロディが鳴りましたら、速やかにそのスイッチを OFF します。LED が赤点灯します。LED が青（緑）点灯の場合は、再度同じ操作を行ってください。

「できレバースイッチ。」を利用して操作する（スイッチ4個モード）

レバースイッチを利用しますと、上下左右の他に斜め方向にも、長短の組み合わせを自由に設定して利用することができます。

さらにサブメニューモードもあり、16個の機能を設定できます。(実際には、サブメニュー切替用で2個少なくなります。)の長短0nの“0”と“1”の組み合わせが難しい場合は、SW1からSW4に、その長短の組み合わせを自由に設定して利用することができますが、

他のモードからこのモードにするには、電源を切り、レバーを右に倒したまま、「でき iPad。」の電源を入れメロディが鳴りましたら、速やかにレバーを放します。LEDが赤点灯します。LEDが青(緑)点灯の場合は、再度同じ操作を行ってください。

9-2.VoiceOver を併用して操作する際のコマンド一覧 VO スイッチコントロールでの利用の際は、この項は不要です。

SW1は、すべてのモードでDeepSleepからの復帰やモード設定や連続動作の停止などの役目があります。

表は左から、機能コード/長短ONの組み合わせ/関連/説明 となっております。

VoiceOver 併用スイッチ4個モードでは、機能コードを利用して自由に機能を変更することができます。

スイッチ1個モード			
00			機能なし
01	0	→	フォーカス次へ移動
02	00	↑ + ↓	選択
03	000	→連続(停止操作しない場合20回で自動停止)	フォーカス次に連続移動 (0:今だけ早い/元に戻す 1:停止)
04	0000	HOMEを1回ON	HOMEボタン操作
05	00000	未使用	
06	1	←	左に移動
07	01	↓	下に移動(縦方向のナビゲーション0nの場合)
08	001	再生・停止(音楽や写真がないと機能しません)	画面表示しないまま再生停止可/スライドショーの再生停止
09	0001	▽連続(停止操作しない場合20回で自動停止)	音量ダウン (1:停止)
10	00001	Ctrl+Opt+s	読み上げON/OFF
11	10	↑	上に移動(縦方向のナビゲーション0nの場合)
12	010	Opt + ↑	上にスクロール
13	0010	連続BACK(早巻戻し) (停止操作しない場合20回で自動停止)	再生中連続で前の曲に巻き戻し (1:停止)
14	00010	未使用	

15	11	Ctrl + ↓	画面の最後の TabIndex へ移動
16	011	Opt + ↓	下にスクロール/文章の最後へ
17	0011	連続 FF (早送り) (停止操作しない場合 20 回で自動停止)	連続で次の曲に早送り (1:停止)
18	00011	Cmd+Space	日本語かな/英数/日本語ローマ字切替
19	100	Ctrl + →	右へブロック移動
20	0100	Opt + ←	前ページへ移動
21	00100	Siri 起動	HOME の長 ON (Ver1.6 以降)
22	101	Ctrl + ←	左へブロック移動
23	0101	Opt + →	次ページへ移動
24	00101	未使用	
25	110	Ctrl + ↑	左上に移動
26	0110	Ctrl+Opt+ -	通常は音楽の再生停止/着信で HookUp/カメラでシャッターON
27	00110	Ctrl+Opt+ ↑	下段の小さなスライド一覧左へ移動 (縦移動 OFF 時)
28	111	ENTER	スイッチ対応アプリで利用 SW4 に割り当て
29	0111	ESC	抜ける
30	00111	Ctrl+Opt+ ↓	下段の小さなスライド一覧右へ移動 (縦移動 OFF 時)
31	1000	←連続 (停止操作しない場合 20 回で自動停止)	前へ連続フォーカス移動 (0:今だけ早い/元に戻す 1:停止)
32	01000	Space	スイッチ対応アプリで利用 SW2 に割り当て
33	1001	Ctrl+Opt+Space を 2 回	写真拡大/元に戻す
34	01001	未使用	
35	1010	HOME を 2 回 ON	タスク表示
36	01010	1	スイッチ対応アプリで利用 SW1 に割り当て
37	1011	△ 連続 (停止操作しない場合 20 回で自動停止)	音量を上げる (1:停止)
38	01011	3	スイッチ対応アプリで利用 SW3 に割り当て
39	1100	ローター連続表示 (20 回で自動停止)	ローター時計方向に回転 (1:停止)
40	01100	未使用	
41	1101	Ctrl+Opt+←	キーボードの左上隅から予測文字枠に右に移動

42	01101	未使用	
43	1110	DEL	削除
44	01110	VoiceOver の ON/OFF	トリプルクリック
45	1111	Eject	キーボード表示
46	01111	DeepSleep へ	DeepSleep へ (SW1 の On で DeppSleep から抜けます)
47	11110	ブザー音の ON/OFF (設定保存はしない)	ブザー音の ON/OFF 常時状況を保つには設定で行う
48	010111	Reset	万が一、通信エラーの場合の Reset コマンド
49	111111 1(7回)	← + →	クイックナビゲーション ON/OFF *クイックナビゲーション OFF では、操作できません。
50			
	000000 0(7回)	入力モードなどの設定モードになります。	16 ページのスイッチを利用した設定モードをご覧ください。

スイッチ 2 個モード *01 の組み合わせはスイッチ 1 個に準ずる (長短 ON が困難な場合に試してみてください)			
0	0/短 ON 7 回でモード設定へ	SW1	
1	1	SW2	

スイッチ 4 個モード (ノーマル)			
SW1	↓/長 ON ブザー5 回で連続 (停止操作しない場合 20 回で自動停止)	下	短 ON でいまだけ早い/長 ON で停止 *上下左右や斜めはジョイスティック利用時
SW2	←/長 ON ブザー5 回で連続 (停止操作しない場合 20 回で自動停止)	左	
SW3	↑/長 ON ブザー5 回で連続 (停止操作しない場合 20 回で自動停止)	上	フォーカスを上下移動するには、ローターを表示させ、 縦方向のナビゲーションにしてください。
SW4	→/長 ON ブザー5 回で連続 (停止操作しない場合 20 回で自動停止)	右	
SW1 + SW2	HOME/長 ON ブザー7 回でモード設定へ	左下	

SW2 + SW3	キーボード表示/長 ON ブザー5回で左上へ移動	左上	
SW3 + SW4	再生停止・シャッター・電話応答	右上	Ver1.3 まではローター/長 ON ブザー5回で右下へ移動
SW4 + SW1	決定/長 ON ブザー5回でサブへ	右下	
スイッチ4個モード (サブ)			
SW1	→	下	*上下左右や斜めはジョイスティック利用時
SW2	前ページに移動	左	Ver1.3 までは左にブロック移動
SW3	右ブロックに移動	上	Ver1.3 までは再生停止/シャッター
SW4	次のページに移動	右	Ver1.3 までは右にブロック移動
SW1 + SW2	HOME/長 ON ブザー7回でモード設定へ	左下	設定では、SW1 の長短 ON で行います。左下で抜けます。
SW2 + SW3	左上に移動	左上	Ver1.3 までは機能なし
SW3 + SW4	ローター表示	右上	
SW4 + SW1	決定/長 ON ブザー5回でノーマルへ	右下	

設定したモードは、「でき iPad。」の電源を切っても保持されます。新たにペアリングしますと、設定内容は初期化されます。

**** 機能は都合により変更になる場合もあります。**


9-3. VoiceOver を併用して操作する際の操作例 VO



0 は短く ON (ブザー鳴る) 1 は長く ON (ブザー鳴る/LED 点灯する) *短 ON と長 ON のブザーは音色が異なります。


00 は短く2回 ON、01 は短く1回 ON + 長く1回 ON

*スイッチ対応アプリのみを操作する場合やレバースイッチ利用は、この基本操作は、読み飛ばしてください。

1. アイコンを選択する	00 でフォーカスのあるアイコンを選択します。
2. 次のアイコン(項目)にフォーカスを移動する	0 で次のアイコンに移動します。 000 で次のアイコンに連続移動します。(赤 LED 点滅します/連続は 20 回で自動停止します 0:今だけ早い/元に戻す 1:停止) 連続移動の際、SW1 を操作し、ブツ(短い音)で今だけ早い機能がはたらきます。ブー(長い音)まで操作して停止します。
3. 前のアイコン(項目)にフォーカスを移動する	1 で前のアイコンに移動します。 1000 で前のアイコンに連続移動します。(赤 LED 点滅します/連続は 20 回で自動停止します 0:今だけ早い/元に戻す 1:停止) 連続移動の際、SW1 を操作し、ブツ(短い音)で今だけ早い機能がはたらきます。ブー(長い音)まで操作して停止します。

4. ジャンプ移動	
<p>110 で左上のアイコンにジャンプ移動します。 11 で右下のアイコンにジャンプ移動します。 100 で左下のアイコンにジャンプ移動します。 *ジャンプ先に該当がない場合は、操作続行ができない場合があります。そのときは、010111 (リセットコマンド) で操作が再開できます。 010111 を入力しても操作できない場合は、「でき iPad。」の電源を入れ直してください。</p>	
5. 次のページに移動	
<p>0101 で次ページに移動します。 0100 で前ページに移動します。</p>	
6. ホームボタン操作	
<p>0000 で、HOME ボタン ON の動作をします。</p>	
7. タスクメニューを表示する	
	<p>1010 でタスクメニューを表示します。 タスク内の移動も、0 や 1 が利用できます。</p>
8. フォルダーアイコンを開く・閉じる	
<p>0 や 1 でフォルダーにフォーカスを移動します。 00 でアイコンやフォルダーを選択します。</p>	
9. 吹き出し窓での操作	
<p>0 や 1 でアイコンにフォーカスを移動します。 00 で選択します。 0111 や 0000 で、開いたフォルダーが閉じます。</p>	
10. スリープ動作	
<p>「でき iPad。」は、約 10 分間スイッチ操作しない場合、スリープモードに入り、消費電力を抑えます。このとき、LED も消灯します。 スイッチを ON すると、スリープモードからの復帰します。LED が点灯しましたら、操作可能です。01111 で手動でもスリープに入れます。 スリープに入るまでの時間は、2段階に設定可能です。</p>	
11. スリープ中の iPad や iPhone を復帰させる	
<p>「でき iPad。」の LED が点灯した状態でスイッチ ON すると、スリープ中の iPad や iPhone が復帰表示します。 「でき iPad。」の LED が消灯している場合は、「でき iPad。」もスリープ中ですので、一度 SW1 を ON にして「でき iPad。」の LED を点灯</p>	

<p>させてから、もう一度スイッチ操作をします。</p>	
<p>12. 0110 は七変化</p> <p>0110 は、場面で機能が変わります。 通常は、音楽の再生/停止。スライドショーの再生/停止。カメラでは、シャッターON。 電話の着信では、フックアップの機能になります。</p>	
<p>13. VoiceOver の音声読み上げを停止する</p> <p>VoiceOver モードを利用しておりますので、デフォルトでは、アイコンを読み上げたりの音声ガイドがあります。 00001 で音声読み上げを停止します。再度 00001 で音声読み上げを再開します。</p>	
<p>14. クイックナビゲーション Off となった場合</p> <p>1111111 で、クイックナビゲーションの On/Off ができます。 クイックナビゲーション Off の場合、「でき iPad。」のイベントが機能できなくなります。</p>	
<p>15. リセットコマンド</p> <p>万が一、「でき iPad。」と iOS 機器の通信ができなくなった際には、上記 14 項を確認してください。やはり操作ができない場合は、 スイッチ操作で音が出る場合は、01111 でいったん Sleep モードにするか 010111 でリセット操作を試してください。 音が出ない場合は、「でき iPad。」の電源を入れ直してみてください。</p>	
	<p>16. 縦方向のフォーカス移動</p> <p>1100 でローターを約1秒間隔で表示します。縦方向のナビゲーションと表示されましたら、1で連続表示を停止します。 縦方向のナビゲーションが表示しない場合は、11.iPad・iPhone の設定 の項をご覧ください。</p>
	<p>17. 見出しジャンプ(連絡先など あ/か/さ/た/な/ とジャンプ移動)</p> <p>01 であ/か/さ/た/な・・・とフォーカスがジャンプします。 10 で な/た/さ/か/あ とフォーカスがジャンプします。</p>
<p>18. ピッカー(上下回転ダイヤル)操作</p>	

<table border="1"> <tr><td>2011年</td><td>3月</td><td>6日</td></tr> <tr><td>2012年</td><td>4月</td><td>7日</td></tr> <tr><td>2013年</td><td>5月</td><td>8日</td></tr> <tr><td>2014年</td><td>6月</td><td>9日</td></tr> <tr><td>2015年</td><td>7月</td><td>10日</td></tr> </table>	2011年	3月	6日	2012年	4月	7日	2013年	5月	8日	2014年	6月	9日	2015年	7月	10日	<p>フォーカスを与えて、00110 や 00111 で前後に移動できます。 010 や 011 でダイヤルを早く回せます。</p>
2011年	3月	6日														
2012年	4月	7日														
2013年	5月	8日														
2014年	6月	9日														
2015年	7月	10日														
19.																
	00100 で起動できます。0000 で終了です。(「でき iPad。」Ver1.6 以降)															

9-4. スイッチ 4 個モードで機能を自由に割り当てる操作例 VO

VoiceOver 併用スイッチ 4 個モードでは、機能コードを利用して自由に機能を変更することができます。

1. レバースイッチを右下に倒したまま（スイッチの場合は SW4+SW1）、「でき iPad。」の電源を入れます。
2. メロディがなりましたら、レバースイッチを放します。LED が点滅し機能を設定するモードになりました。

例 1：左にレバーを倒した場合、HOME 動作をさせる（SW2 に HOME 動作をさせる）

レバーを左に倒す。ブザーが鳴り LED が青（緑）になります。HOME 機能は、**VoiceOver** を併用して操作する際のコマンド一覧から機能コード 04。10 の位が 0 なので、長くレバーを一回下（SW1）に倒す。一の位は 4 なので、短く 4 回レバーを下（SW1）に倒してから長くレバーを一回下（SW1）に倒す。LED が点滅に変わり次の設定ができるようになります。

例 2：上にレバーを倒した場合、スクリーンキーボードを表示させる（SW3 にキーボード表示動作をさせる）

レバーを上を倒す。ブザーが鳴り LED が青（緑）になります。キーボード表示は、機能コード 45。10 の位が 4 なので、短く 4 回レバーを下（SW1）に倒して（LED 赤点灯）から長くレバーを一回下（SW1）に倒す。LED 青点灯。一の位は 5 なので、短く 5 回レバーを下（SW1）に倒してから長くレバーを一回下（SW1）に倒す。LED が点滅に変わり次の設定ができるようになります。

3. 終了は、「でき iPad。」の電源を OFF にして、再度「でき iPad。」の電源を ON します。
4. サブモードの機能を変更するには、レバースイッチを左下に倒したまま（スイッチの場合は SW1+SW2）、「でき iPad。」の電源を入れます。上記 2 から 3 と同じ操作を行います。
5. 設定後、自動的にリセットがかかります。スイッチ 4 個モードで設定内容が反映します。
設定した内容は、「でき iPad。」の電源を切っても消えません。

レバーと SW の関係は、下（SW1）・左（SW2）・上（SW4）・左（SW4）・右下（SW1+SW4）・左下（SW1+SW2）となります。

6. レバースイッチを左上に倒したまま（スイッチの場合は SW2+SW3）、「でき iPad。」の電源を入れますと、レバースイッチの機能が初期化（9-10 ページの内容）されます。
7. レバースイッチを右上に倒したまま（スイッチの場合は SW2+SW3）、「でき iPad。」の電源を入れますと、SW1 で入力モードなどの設定ができます。15 ページのスイッチを利用した設定モードをご覧ください。

9-5. スイッチコントロールを併用して操作する（「でき iPad。」 Ver2.0 以降 iOS7 以降） **SWC**

SW1 の ON の回数で利用する

ペアリング直後はこのモードになっております。

このモードでスイッチコントロールを OFF にしますと、1/Space/3/Enter スイッチ対応アプリが 1 個のスイッチの回数で操作することもできます。

詳しくは、「でき iPad。」ユーザーマニュアル スイッチコントロール編をご覧ください。

SW1 から SW4 の ON で利用する

スイッチを 1 個から複数個の利用が可能な場合に利用できます。

詳しくは、「でき iPad。」ユーザーマニュアル スイッチコントロール編をご覧ください。

9-6. 専用スイッチ対応アプリ操作する

トーキングエイド for iPad を操作する

トーキングエイド for iPad の操作が行えます。

詳しくは、「でき iPad。」ユーザーマニュアル スイッチコントロール編をご覧ください。

スイッチ対応アプリを操作する

Bluetooth キーボードの 1/Space/3/Enter に対応したアプリの操作が行えます。

詳しくは、「でき iPad。」ユーザーマニュアル スイッチコントロール編をご覧ください。

9-7. 操作モードの確認

「でき iPad。」の電源を入れた際に、設定されている操作モードを音で知ることができます。

ピロピロ+短1ブザー:LED 青(緑):スイッチコントロール対応のスイッチ1個モード

ピロピロ+短4ブザー:LED 青(緑):スイッチコントロール対応のスイッチ4個モード

ピロピロ+短3ブザー:LED 青(緑):トーキングエイド for iPad1 モード

短3ブザー:LED 青(緑):スイッチ対応アプリモード

短1ブザー:LED 赤:VoiceOver 併用でのスイッチ1個モード

短2ブザー:LED 赤:VoiceOver 併用でのスイッチ 2 個モード

短4ブザー:LED 赤:VoiceOver 併用でのスイッチ 4 個モード

10.その他の操作と設定 (LED 赤点灯の状態)

スイッチ操作をして機能するまでの時間の設定が 2 段階あります。連続移動時間の設定が 2 段階あります。

スイッチ操作の際の、ブザー音を停止させることができます。

節電モードに移行する時間の設定が 2 段階あります。

レバースイッチご利用の場合、斜め方向の機能の ON/OFF ができます。また連続動作機能の ON/OFF ができます。

スイッチを利用した設定モード (スイッチ 1 個モード・スイッチ 2 個モード・スイッチ 4 個モード時に有効) 0000000 (0 を 7 回) で設定モードに入ります。設定モード時には、メロディが流れ LED が点滅します。 0000000 (0 を 7 回) で何も設定しないで、設定モードを終了できます。 レバースイッチ利用時は、右斜上に ON しながら「でき iPad。」の電源を入れますと、このモードに入れます。		
操作モード設定 (「Φ3.5 x 4 ユニット。」でも可能。6-7 ページの 9. 操作モードの切替をご参照ください。)		
0	スイッチ 1 個モードに設定する	スイッチ 1 個利用 VO
00	スイッチ 2 個モード設定する	スイッチ 2 個利用 VO
000	スイッチコントロール併用 4 個モードに設定する	スイッチコントロールを On にしてください。 SWC
0000	スイッチ 4 個モードに設定する	スイッチ 4 個/スイッチ式ジョイスティックを利用 VO
00000	トーキングエイドモードに設定する	スイッチ 2 個までサポート
000000	海外スイッチ対応モードに設定する	1 /Space/ 3 /Enter に対応
時間や音の設定		
1	イベントまでの時間を短く/初期値に戻す	スイッチ操作後に動作するまでの時間 約 1.3 秒/2.2 秒 VO
11	自動移動早く/自動移動もとに (初期値)	約 17 秒で 20 個移動/約 26 秒で 20 個移動 VO
111	Beep を出す (初期値) / Beep を停止	
1111	約 5 分/約 10 分で DeepSleep へ移行 (初期値)	でき iPad。」を操作しない場合に、DeepSleep モードへ移行 01111 で手動でも DeepSleep モードに移行できます VO
10	レバースイッチで斜め機能を使う	Ver1.5 以降
010	レバースイッチで斜め機能を使わない	

100	レバースイッチ（スイッチ 4 個モード）で連続機能を使う	Ver1.5 以降
0100	レバースイッチ（スイッチ 4 個モード）で連続機能を使わない	
その他の設定		
111111	1 を 6 回で設定内容を出荷状態に戻す	ペアリングは保持します。Ver1.3 までは 0101

11. ご注意とお願い

詳しくは、「でき iPad。」ユーザーマニュアル スイッチコントロール編をご覧ください。

12. 「でき iPad。」でできないこと

- 12-1. フリーハンドで文字や図を描くこと。
- 12-2. 写真撮影時の任意の位置のフォーカス調整。
- 12-3. iOS 製品以外の操作。

13. Q&A

詳しくは、「でき iPad。」ユーザーマニュアル スイッチコントロール編をご覧ください。

14. 動作がおかしいとき

詳しくは、「でき iPad。」ユーザーマニュアル スイッチコントロール編をご覧ください。

「でき iPad。」が、iOS 製品を操作する際の入力支援機器として、選択肢の一つに加えていただけたらうれしいです。

「できマウス。」プロジェクト

具体的な iOS アプリ操作手順は、ユーザーマニュアル応用編をごらんください。

VoiceOver 併用の応用編は内容がまだ充実しておりません。みなさんからのご協力を得ながら充実していければと願っております。

<http://dekimouse.org> または、<http://dekimouse.org/wp/> から PDF でダウンロードできます。

iOS 機器では、マニュアルを iBooks の書棚に取り込むことができます。